

第7章 政策ごとの具体的取組

記載内容の説明

「政策の柱」は、

「第5章 政策体系と行政経営」の「1 政策体系」で示した政策を構成する柱であり、政策分野と施策・取組の方向を示しています。

「SDGs」は、

各政策に主に関連するSDGsの17の目標を示しています。

「現状と課題」は、

「政策の柱」ごとに、その政策分野の現状と対応すべき課題を記載しています。

「目標」は、

「現状と課題」を踏まえて、4年後に目指す姿・到達点を定性的に文章で明らかにしています。

「成果指標」は、

「目標」の達成に向けた「施策」の効果を、客観的データにより定量的に示す指標であり、計画期間中に目指す「目標値」を設定しています。

「施策」は、

「目標」の達成に向けて、4年間に推進する取組の方向を示しています。

「活動指標」は、

「施策」の進捗状況を、客観的データにより定量的に示す指標であり、「施策」に位置づけた「主な取組」のうち、代表的な指標を設定しています。計画期間中に実施・到達すべき「目標値」を設定しています。

「主な取組」は、

各「施策」において、今後4年間に取り組む具体的な内容を示しています。

※ 指標の目標値で、年度（年）を記載していないものは、計画最終年度となる2025年度（年）を示しています。

政策の柱

7-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革

SDGs



生産年齢人口の減少や少子高齢化の進行などにより、多くの職種で人材不足が顕在化しています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、地方移住への関心が高まるとともに、ライフスタイルや就労環境の多様化が進み、多様な人材が生き生きと活躍できる環境づくりと、自分に合った働き方を選べる働き方改革が求められています。

このため、県内出身者の県内企業への就職支援やU・Iターン就職の促進、仕事と家庭の両立や働き方の見直し支援に取り組むほか、女性、高齢者、障害のある人、外国人などの多様な人材の活躍促進、NPO等による社会貢献活動の促進、生涯学習の環境づくりなどにより、誰もが活躍できる環境の整備を進めます。

現状と課題

❖ 現状と課題

- 人材不足が顕在化する中、地方移住の関心の高まりを捉え、県内学生、県内出身の大学生等、移住を希望する首都圏等の社会人などの若者人材の呼び込みが重要です。
- 急速な社会経済の変化やデジタル化に対応できる人材の確保・育成が急務となっています。
- 生産年齢人口の減少や、人々の意識や生活様式の変化に対応し、働く意欲のある誰もが働きやすい多様で柔軟な勤務体制の導入支援が重要です。
- 人口構造の変化を受け、女性や高齢者、障害のある人、外国人、NPOなど、多様な主体の活躍が期待されています。
- 多様な学習機会の確保など、生涯を通じた学びを提供できる環境の整備が求められています。

目標

❖ 目標

- 大学生等のU・Iターンを促進し、県内企業への就職を支援します。

成果指標

❖ 成果指標

成果指標	現状値	目標値
県内出身大学生のUターン就職率	(2019年度) 35.3%	43%

「施策」ページ

7-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革

施策

(1) 産業人材の確保・育成

活動指標

活動指標	現状値	目標値
静岡U・Iターン就職サポートセンター利用者の県内企業内定者数(学生)	(2020年度) 195人	260人

主な取組

① 新規学卒者等の就業支援

(経済産業部 労働雇用政策課)

- 県外大学生等のUIターン就職や、県内大学生等の県内企業への就職を支援するため、「静岡U・Iターン就職サポートセンター」や「しずおかジョブステーション」での相談支援を行います。

取組の主な工程表	2022	2023	2024	2025
大学生等の就職支援	静岡U・Iターン就職サポートセンターによる県内就職支援			
	内定者数	221人	234人	247人
	就職支援協定締結大学と連携したイベント実施			
	イベント回数	47回	55回	63回

※「主な取組」の太字部分は、下表（工程表）に関係することを示しています。